

真宗学会

◇文学部例会

十月十八日(金) 於會議室
研究発表

親鸞の「雜」の意味について

二村竜華教授

出席 稲葉教授、広瀬、細川助教、

白井、伊東助手他学生十五名

◇真宗学会史蹟踏査

十一月四日(月)奈良、斑鳩方面

見学場所 天理教本部、法隆寺、中宮

寺、唐招提寺、薬師寺、東大寺

参加 稲葉会長、松原教授、細川助教

授、白井、伊東助手他会員五十五名

◇「親鸞教学」第三号発行 十一月十日

(清沢満之生誕百年記念号)

自 覚 金子 大柴

——清沢先生を憶う——

清沢先生の真俗二諦論 稲葉 秀賢

清沢満之に対する二つの疑問

松原 祐善

我が信念の内景(二) 広瀬 杲

落 在 者 安田 理深

夢告に憶う 正親 含英

清沢先生の「精神」 西谷 啓治

清沢満之は生きている 鈴木 大拙

清沢先生を憶う 曾我 量深

◇昭和三十八年度真宗学会大会

十一月十三日(水) 於図書館講堂

発表表

光台 現国論 藤原幸章教授

仏教学に於ける業論の位置を論

じて親鸞の罪福信に及ぶ

舟橋一哉教授

会員、その他出席者多数あり、盛会裡

に終了

◇大学院例会

十一月十四日(木) 於會議室

発表表

性格と学風 博二 大門 照忍

ヨーロッパの印象 博二 大門 照明

出席、細川助教、白井助手他学生十

三名

仏教学会

◇帰朝報告会

十月二十三日 於図書館講堂

アメリカより帰国された佐々木現順教

授、ウイーンより帰国された雲井昭善

教授を迎え、各地の学界動向を中心に

お話を聞く

出席 舟橋、安井、佐々木教、桜部、

荷葉、白土の諸先生、鍵主助手他学

生等三十余名

◇仏教学会例会

十一月十二日 於會議室

発表表

英国及びヨーロッパの一年

坂東性純講師

出席 舟橋、山田、安藤、桜部、白土の

諸先生、鍵主助手他学生十五名

哲学倫理学会

◇公開講演会

十一月十六日 於図書館會議室

講演

具体的全体と行為的主体

京都大 学教授 保田 清氏

講演終了後、講師を囲んで阿部先生の

司会により座談会を開催した

出席 河瀬教授、世良元教授、金松講師、阿部助教授、他学生など三十余名

教育学会

◆公開講演会

十一月十三日 於図書館会議室
講演

集団と人間形成 大阪市蜂屋 慶氏
出席 柴田、藤助教授、太田講師他学生など三十余名

社会学会

◆研究旅行

十月六・七日 香川県小豆島
社会調査技術修得のため実地研究

◆研究成果報告

十一月五日
本年夏期休暇中、京都大学、竜谷大学、高野山大学、種智院大学各社会学教室と共同で行なった「信仰実態調査」の研究成果を、臼井教授が老年社会科学会で報告した

国文学会

◆史蹟踏査

十月五・六・七日 四国方面
「傾城阿波鳴門」「平家物語」や俳人尾崎放庵などにちなむ文学遺蹟を中心に訪れた

参加 多屋教授、山本助教授、岡崎講師、渡辺講師ほか学生約三十名

屋島に於ける渡辺講師の「平家と屋島合戦」のほか、各地でそれぞれ臨地講演及び解説をきく

仏教史学会

◆研究旅行

十月十二日～十四日 尾張美濃方面
十二月 名古屋城、徳川美術館、蓬左文庫、真福寺、七ツ寺、熱田神宮、

裁断橋、名古屋別院泊

十三日 多治見市永保寺、美濃関市新長谷寺、岐阜城趾、岐阜別院泊
十四日 谷汲山華嚴寺、横藏寺

指導 藤島教授

参加 名畑助手ほか四回生十余名

東洋学会

◆第一回学術大会

東洋学関係講座及び卒業生を加えた東洋学会が発足し、初の大会を開催す
十一月二日 於図書館講堂
研究発表

元代杭州仏教の一考察、稲葉 正枝
天台智顛の通明観、福島 光哉

北斉文宣帝と仏教、諏訪 義純
中国における空と無の理解について

白居易の文学と仏教、三桐 慈海
平野 顕照

—— 仏典との問題 ——
大学行義補と顧炎武について

高王観世音経の出現、間野 潜竜
（特別参加）欧州紀行、牧田 諦亮

発表終了後、学内食堂にて懇親会を行ない、馳せ参じた卒業生も加えて飲談盛會裡に終始した。学術大会出席者約七十名、懇親会約五十名